

Web上で操作できるOfficeの紹介

スタート画面に下図のようなアイコンが表示されていませんか？



これは、クラウドアプリの Microsoft Office です。

Word, Excel, PowerPoint, Outlook や One Note がウェブ上で利用できます。(但し、マイクロソフトのアカウントが必要となります。)

機能的にはインストールされている Office ソフトと比べ若干機能は劣りますが簡単に利用することができます。


パソコンにインストールされている Office がパーソナルの場合は、WordとExcelとOutlookしか利用できませんが、クラウドアプリではPower PointやOne Noteが利用できるようになります。

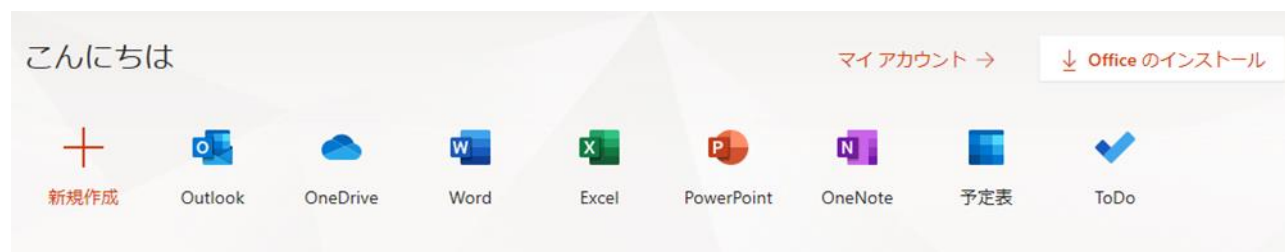
下図は、Wordで One Driveの文書を開いた画面ですが、赤枠で囲まれた部分に注目すると、



①の**デスクトップ アプリで開く**を押すと、インストールされているWordで編集できるようになります。②では、ドロップダウンリストで「編集」・「チェックコメント(コメントの追加・編集)」や「閲覧(編集不可)」の作業が選択できます。

右端には「共有」と「コメント」の操作ができるボタンがあります。

 このアイコンをクリックすると下図が現れ、クラウドアプリで作業を進めることができます。



さらに、Officeのインストールへのリンクも備わっているので、新たなパソコンへのインストールも楽にインストールできるようになります。(OfficeのSetupリンクが見つかり辛い場合に便利)

もう一つの特色が、スマホ向けにOffice Mobileが用意されていることで、パソコンだけでなくスマホでもOne Driveに保管されている文書の閲覧や編集が可能になります。



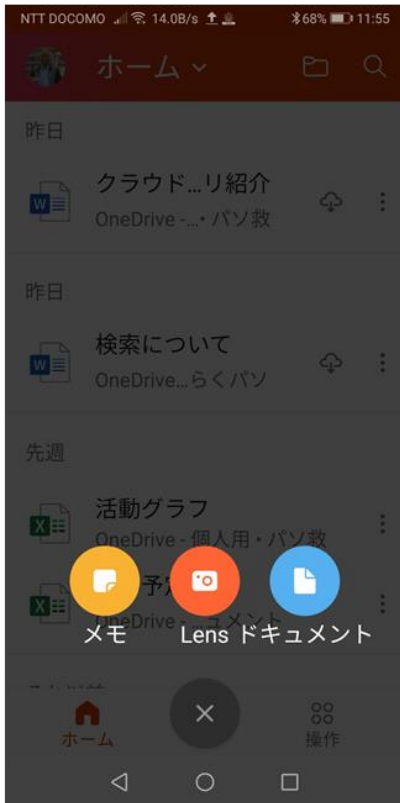
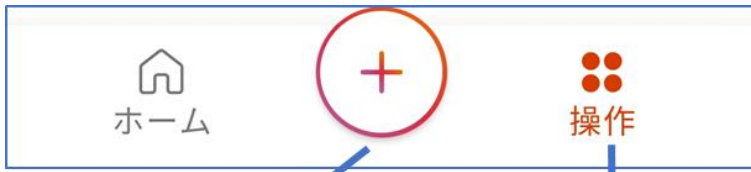
iOSとAndroidが用意されています。

従来は、個々のアプリでしたが、統合ソフトとして利用できるようになり、ストレージへの負担が軽くなりました。

レンズ機能を統合してカメラで撮った書類がWord文書やEXCELドキュメントへ変換したり、PDFをスキャンしたり、ホワイトボードを自動デジタル機能でキャプチャしたりできます。

簡単なメモの作成、PDFへの署名、QRコードのスキャンやデバイス間でのファイル転送などができるようになっています。

スマホでの操作画面
スマホ Office Mobileの画面



操作 1ページ



操作 2ページ

Googleアプリでもクラウドアプリが利用可能

